

土居中魂

全校朝会

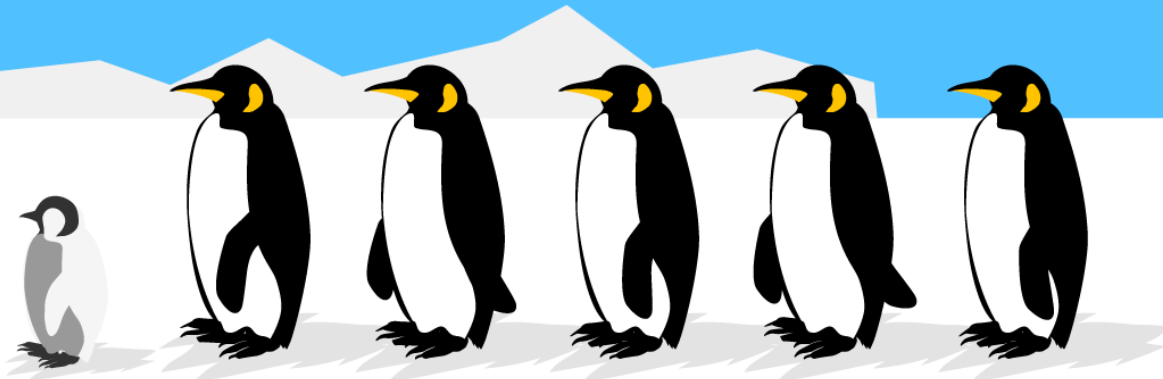
「〇〇〇〇の尊重」

2021. 4. 23

校長 近藤 寛

# クイズです！ 【第1問】

ペンギンが6匹歩いていました。  
そのうち... Mid-winter Greetings!



# クイズです！ 【第2問】

Aさんが、夕飯のしたくをしていると、玄関のチャイムが鳴りました。丁度手が離せなかったもので、小学生の子どもに対応に出てもらいました。

訪問者が、「こんにちは。お母さんはいらっしゃいますか？」と尋ねると、子どもは「今、出掛けていて家にはいません。」と答えました。

なぜ、子どもはこんなことを言ったのでしょうか？



# 【第3問】 職業は何でしょう？

**A**

**B**

**C**

**D**

- ①消防士    ②バスの運転士  
③保育士    ④看護師

これらのクイズから分かること・・・

1 「ペンギンの数を聞かれる」と思っていた！

⇒ **思い込み**

2 「家事をするのはお母さん」と思った！

3 「～は女性の仕事、～は男性の仕事」

⇒ **先入観、固定観念**

思い込み、先入観、  
固定観念、決めつけ、  
無知、誤解 ……

これらは、『偏見や差別』につながっていく。

私たちの中にも、いつの間にか  
刷り込まれていないか？

ヒロシが、赤い自転車を買って登校した。



ヒロコが、ズボンをはいて登校した。

女(男)らしく…

男(女)のくせに…

⇒ **男女の固定化された  
イメージの刷り込み**

**大切なのは、性別ではなく個人  
「自分らしさ」**



性の在り方は、男女ふたつではない

【性のものさし】

- 身体の性・・・生まれたときの性
- 心の性・・・自分はどの性別と感じているか
- 社会的な性・・・服装やふるまい
- 好きになる性・・・好きになる相手の性

性の在り方は、多様。

違いは、「自分らしさ」

性だけではない・・・人は、みな違う  
様々な「自分らしさ」=「多様性」  
みな、多様性の中の一員！

みんながっていいんだよね！



あなたも大切なひとり  
オマザマにほってほる誰かも

みな違って当たり前  
自分らしく生きていいのに・・・  
「生きづらさ」を感じる現実がある



▲自分のものさし(価値観)で、人を見下したり、排除する行為。

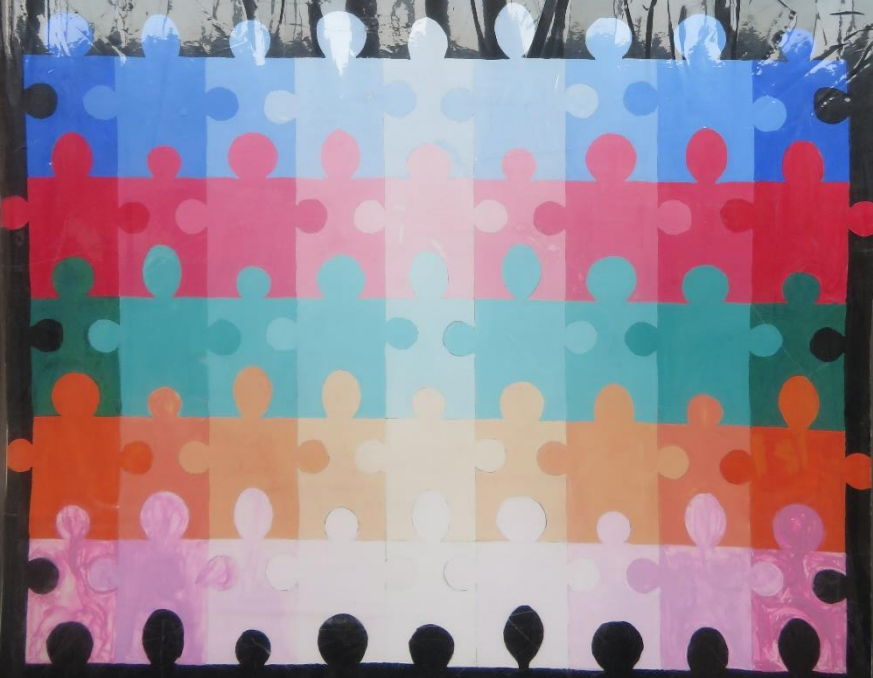
▲違いを理由に、バカにしたり、からかったりする行為。 ×「きもい」・・・

▲多数派が普通と考える感覚・・・

# 多様性の尊重

- 違いを認め合う
- 自分らしさを  
お互いに認め合う

違うってことは  
ステキなこと



だれもがみんな  
宝物



あなたは、たった一人しかいないかけがえのない存在です

**「命ふたつ」**、あなたの周りにいる人たちも

一人ひとりがかけがえのない存在です

「性別が違う」「見た目が違う」「好みが違う」・・・

「違い」を理由に、相手に偏見を持ったり、

差別をしたりしていませんか

**みんな違うのが当たり前**

みんな違ってよいはずですよ

**お互いを認め、尊重することで、**

みんなが自分の持っている個性や可能性を

広げていくことができます

全ての人々が未来に夢と希望を持ち

お互いに**自分らしさ**を発揮し、そして協力し合い、

**素晴らしい土居中学校を創り上げていきましょう！**